



■活動日：2017年7月8日（土） 9：00～15：00

■参加者：チーム神於山 正会員 9名 （午後のフリータイムには4名参加）

■活動内容

- ・今回は、上部植栽地で復活し始めたネザサの刈り込みに取り組みました。
- ・上部植栽地は、これまで何回か間伐を進めてきましたが、まだ成長の悪い木が多く残っていますから思い切った間伐が必要です。
- ・今回のネザサ刈りは、その準備も兼ねた取り組みで、当初は作業道から林道寄りの1/2を目標にしていたのですが、予定以上に進み、午前中に上部植栽地全体のほぼ8割の刈り込みを終わることが出来ました。活動頂いた9名の皆さん、お疲れ様でした。
- ・次回は、残る2割のネザサを刈り、成長の悪い木の間伐に取り組みます。

《今後の活動／果樹園作りについて》

- ・午前の活動の休憩時間に、7/3に原さんからメールで確認が有った「果樹園づくりの目的」などについて話し合いました。以下がその時の意見をまとめたものです。

- ①目的：JAの品質審査が伴う「販売」ではなく、「イベントの開催に役立つレベル」とする。
- ②品種：ある程度の収量が見込め、且つ素人が扱えるものとなると柑橘系（みかん等）になる。
- ③費用：みかんの場合、植込み時の苗木に要する費用は、事前の施肥を含め@2,000円程度。（予定しているエリアでは20本程度は植えられるとのことから総額20,000円程度）
- ④植樹時期：みかんの場合3月。（苗木の手配はJA経由が無難。その場合 発注は10月。）
- ⑤収穫時期：最低4年後となる。
- ⑥今後の課題：水をどう確保するか、植え付け及びその後の維持管理作業はどのようなものか、最終どの程度の費用がかかるか等、解らないことが多いことから引き続き検討を続ける。

■作業風景 1

刈り込み開始。5台の刈払機と刈込鋏が大活躍。



- ・昔とは違い、木漏れ日の中の緑陰作業ですが、湿度が高く、またネザサの伸び方が半端ではなかったので大汗をかきました。
- ・皆さん本当にお疲れ様でした。



■before after 2

作業道から林道までの間の斜面。スッキリしました。

■before



■after



■before after 3

2008年3月に設置した〈モニタリングゾーン〉もクッキリ。

■before



■after



・2008年3月に行った植生調査時、苗木の生育度を観察する為、作業道と林道との間の一角10m四方をトラロープで囲い一切手を入れずに保存していますが、今回の刈り込みでそのエリアが姿を現しました。

■活動頂いた9名の皆さん。

スッキリした上部植栽地入り口で撮影。お疲れ様でした。



■before after 4 2007 年/2017 年 同じ場所から撮影した映像比較。立派な林になりました。

■before : 2007 年 7 月 28 日撮影



分割撮影した写真を貼り合わせているための為、若干ずれがあります。

■after : 2017 年 7 月 8 日撮影



iPhone パノラマ撮影機能利用。中央部がデフォルメされています。

- ・上の写真は上部植栽地の 10 年前と今を比較したものです。
- ・いずれも自然林との境界線から林道に向かって定点撮影したもので、画面の右側が林道からの入口で、作業道（赤の破線）を經由して左端が現在フクロウの巣箱を架けている「クリの木広場」に至ります。
- ・現在は緑陰活動ですが、2007 年当時は苗木も 1 m 足らずにしか成長していないので、日の光を遮るものは何もなく、熱中症ではなく日射病に注意しなければならないほど太陽にさらされての活動でした。

■午後のフリータイム活動 午後は余裕で周辺を散策し、展望台の確認と、ヤマモモの剪定を行いました。



- ・展望台の実態。 中央・左右に植えられたヤマザクラが大きく育ち、景色が全く見えない為、神於山保全くらぶさんと共に岸和田市に除伐をお願いしていましたが、当日偶然お会いした神於山保全くらぶの田口さんの話では、根元から伐採することが決まったようです。朗報です。

●伐っちゃいました。

散策途中で林道に倒れかけた木を見つけたので処分しました。

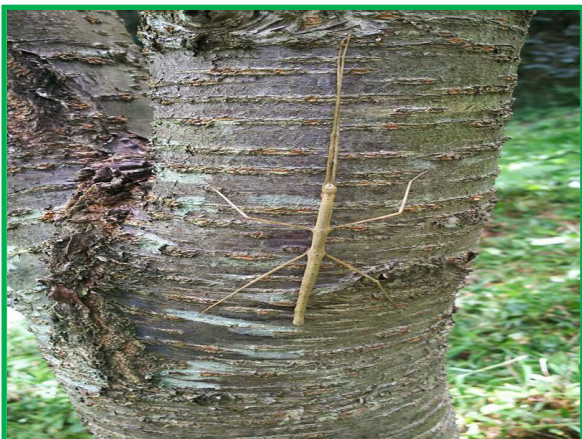
■before



■after



●ナナフシとカラフルケムシ。 基地の上のモミジの近辺のヤマザクラ？の幹にいたナナフシ。岡森さんが発見。ケムシは、以前も見つけた毒針毛の無いヒメシロモンドクガの幼虫みたいです。



以上